

第1学年 外国語科学習指導案

単元名 : A Speech of My Brother

指導者 :

- 1 日 時 : 令和 4 年 11月 7日 (月) 第3校時
- 2 場 所 : 1年1組教室
- 3 学年・学級 : 第1学年1組 (32名)
- 4 単 元 名 : Unit 6 A Speech of My Brother

(1) 単 元 観

本単元は、朝美がスピーチでフィリピンのセブ島に住んでいる兄を紹介する場面から始まる。Story 1では、彼がフィリピンでどのように過ごしているのかを、クラスメイトに向けて写真を使いながら紹介している。Story 2では、朝美の兄についてのより詳しいスピーチが続いている。Story 3では、朝美のスピーチを聞いた海斗が質問をして、フィリピンの食べ物についてやり取りをするという展開となっている。またこの単元は、朝美がフィリピンに住む兄についてスピーチする場面であるため、単元を通してフィリピンの生活や食文化について学ぶ機会としたい。[知識及び技能]に関する事項としては、学習指導要領 第2章 2内容(1)英語の特徴やきまりに関する事項のうち、He plays～や She likes～などの代名詞と3人称単数現在形の動詞を扱う。そして、それらの知識・技能を活用して、[思考力・判断力・表現力等]に関する事項(2)ウ「日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと」の能力を育成する。

(2) 生 徒 観

本校1年生の4月に行ったNRTの中領域別集計結果からみると、半分の領域は全国平均を上回り、半分の領域は下回っている。「身近なことを発表すること」の領域では全国比86、「自分に関する英語を書くこと」の領域では全国比54となっており、英語を使って自分自身や身近なことについて伝えるような分野が苦手な生徒が多いことが見受けられる。授業で実施した授業アンケートでは、「英語の学習は楽しく、積極的に参加しているが、英語を使ったり書いたりすることに自信がない」と答えた生徒は50%を超えていた。しかし、「英語の授業は楽しい」「英語の学習には積極的に取り組んでいる」「英語をもっと読んだり話したりすることができるようになりたい」などの質問にポジティブな回答をしている生徒は70%を超えていた。授業の中でも積極的に発表をする生徒が多く、互いに助け合いのできる、元気のあるクラスである。英語を学ぶことに対するモチベーションは非常に高いので、英語を楽しむことも大切にしながら、文法的知識を十分に理解した上で、自信をもって伝える力をつけていく必要がある。

(3) 指 導 観

生徒達は小学校外国語活動とこれまでの中学英語学習において、自己紹介をしたり、クラスメイトの自己紹介を聞いたり読んだりすることには慣れ親しんでいる。また、1学期のパフォーマンステストでは、3人称単数現在形を使わない形での他己紹介をALTに対して行った。そのときと比べて、3人称単数現在形を使えるようになったことで、より詳しい情報を付け加えることができ、コミュニケーションの幅が広がるということに気づかせたい。Googleスライドを活用してスピーチをすることで、英語を書いたり話したりする、苦手としている分野の力の定着を図りたい。班のメンバー同士でスピーチを聞き

合い、よい点・アドバイスしたいところなどを伝え合う活動を通して、自信をもってALTに対して他己紹介をできるようにする。

(4) 本単元において育成しようとする資質・能力

本校で育成しようとする資質・能力は以下の4点である。

【知識及び技能】			
【思考力, 判断力, 表現力等】		① 伝える力	② 問題解決能力
【学びに向かう力, 人間性等】		③ 協働する力	④ 公共心

この中から、本単元で育成しようとする資質・能力は次の1点に重点を置くものとする。

【思考力, 判断力, 表現力等】①伝える力

- ・英語でわかりやすく聞き手に伝えようと工夫し、伝えることを通じて理解を深める。

5 単元の目標と評価規準

○単元の目標

- ・自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。

○単元の評価規準

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識]三人称単数現在形の文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>・三人称単数現在形の文の理解をもとに、自分と相手以外の人やものなどについて話す技能を身につけている。</p>	<p>・三人称単数現在形の文の理解をもとに、自分と相手以外の人やものについてまとまりのある内容を話すことができる。</p> <p>・学校の先生のことをALTに知ってもらうために、その人について、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。</p>	<p>・三人称単数現在形の文の理解をもとに、自分と相手以外の人やものについてまとまりのある内容を話そうとしている。</p> <p>・学校の先生のことをALTに知ってもらうために、その人について、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている。</p>

6 指導と評価の計画 全11時間 (本時は9/11)

◎単元観・生徒観・指導観を踏まえ、評価の場面や評価方法を計画する。

次	学習内容 (時数)	評価					
		知技	思判表	主体	評価規準	評価方法	資質・能力 (評価方法)
1	3人称単数現在形(肯定文)-導入-	◎	○		[知技] 三人称単数現在形(肯定文)の文の形・意味・用法を理解できる。	ノート	

2	3人称単数現在形（肯定文） - 本文理解-	○		◎	[主態度] 三人称単数現在形（肯定文）の理解をもとに、自分と相手以外の人やものについてまとまりのある内容を話そうとしている。	ノート 行動観察	伝える力 （行動観察）
3	3人称単数現在形（否定文） - 導入-	◎	○		[知技] 三人称単数現在形（否定文）の文の形・意味・用法を理解できる。	ノート	
4	3人称単数現在形（否定文） - 本文理解-	○		◎	[主体] 三人称単数現在形（否定文）の理解をもとに、自分と相手以外の人やものについてまとまりのある内容を話そうとしている。	ノート 行動観察	伝える力 （行動観察）
5	3人称単数現在形（疑問文） - 導入-	◎	○		[知技] 三人称単数現在形（疑問文）の文の形・意味・用法を理解できる。	ノート	
6	3人称単数現在形（疑問文） - 本文理解-	○		◎	[主体] 三人称単数現在形（疑問文）の理解をもとに、自分と相手以外の人やものについてまとまりのある内容を話そうとしている。	ノート 行動観察	伝える力 （行動観察）
7	スピーチ作成（個人）			◎	[思判表] 三人称単数現在形の理解をもとに、自分と相手以外の人について紹介する文を表現しようとしている。	行動観察	伝える力 （Google スライド） （ワークシート）
8	スピーチ発表練習（ペア）		○	◎	[主体] 三人称単数現在形の理解をもとに、自分と相手以外の人について紹介する文を表現しようとしている。	行動観察	協働する力 （Google スライド） （ワークシート）
9	班の中でスピーチ発表練習		◎	○	[思判表] 学校の先生のことを ALT に知ってもらうために、その人について、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容	発表 発表評価シート	伝える力 協働する力 （行動観察） （発表評価シート）

					を話すことができる。		
10	許可・依頼 (Can I ~?)		◎	○	[思判表] 身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。	ワークシート	伝える力 (ワークシート)
11	辞書の使い方② / Grammar for Communication 三人称単数現在形	◎			[知技] 辞書の使い方や、三人称単数現在形の形・意味・用法を理解することができる。	行動観察	

7 本時の展開

(1) 本時の目標

スピーチを通して、聞き手を意識しながら他者について紹介することで、三人称単数現在形の理解を深めることができる。

【単元を貫く問い】聞き手に配慮しながら他者について紹介するにはどうすればよいだろうか。

(2) 観点別評価規準

◎思考力・判断力・表現力 ある人物のことをALTに知ってもらうために、その人について、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

評価方法：（行動観察）（Google スライド）（発表評価シート）

(3) 育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
①伝える力	A ある人物についてのスピーチを、聞き手を意識しながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。
	B ある人物についてのスピーチを、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。
	C Bを満たしていない。

(4) 準備物：Chromebook, インタビューシート, 発表評価シート

(5) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項（・） （努力を要する生徒への指導の手立て◆）	評価規準 ○教科の事項 ☆資質・能力 （評価方法）
導入	<p>課題の設定</p> <p>ALT の困り感を示す（写真）</p> <p>○本時の目標の確認</p>	<p>・ALT の「皆の好きな人物のことをもっと知りたい」という気持ちを確認し、活動に必然性をもたせる。</p>	
	<p>【本時の目標】 アイザック先生に好きな人物紹介をするために、班で練習しよう！</p>		
展開	<p>○発表のモデルを示す （第7時で見せているが、復習のためもう一度見せる）</p> <p>○個人でプレゼンの練習をする。 （3分）</p>	<p>・評価の観点を伝える。（声の大きさ・ジェスチャーなど）</p> <p>◆学力の低い生徒や、グループでの活動に参加するのに支援が必要な生徒を中心に机間巡視をする。</p>	
	<p>○班の中でスピーチ発表をする。 （4人班×8グループ）</p> <p>○数名指名し、前で発表させる</p>	<p>・スピーチに対してよかった所・アドバイスを伝え合うことができるように、どういった観点で発表を聞くのかを明示する。</p> <p>・時間を設定し、聞くことに集中する時間と、評価を書くことに集中する時間を分ける。</p> <p>・全観点で A をとり、他の生徒の見本となれそうな生徒を指名する。</p> <p>◆指名されるのが嫌な生徒には配慮する。</p>	<p>☆伝える力 ある人物についてのスピーチを、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。（Google スライド）（発表評価シート）</p>

まとめ	<p>○次時の予告</p> <p>○ふりかえりシートの記入</p>	<p>・ALT とのパフォーマンステストを迎える前に、クラスメイトの評価を見て改善点を見つける。</p> <p>・スピーチを実際にすること、聞くことで学んだことや感じたこと、次頑張りたいことなどについて記述させる。</p>	
-----	-----------------------------------	---	--

(6) 板書計画

Goal 困っているアイザック先生に、好きな人物のことを紹介しよう！

This is Mr. Yokome. 写真

He teaches 写真

plays 写真

likes 写真

watches 写真

cooks 写真

・

・ 写真

How many good presenters in 1-1?

